

T

ODACCO

とだっこ

戸田市教育
ガイドブック



戸田の教育の
今が分かる

～好きを育み 得意を伸ばす～



ページをめくると
わたしが
どこかに いるよ。
さがしてみてね。

わたしを
みつけてね!



市の鳥「カワセミ」
自然を大切にする心や
郷土への愛着を育む、
戸田市のシンボルです。





教育日本一を目指して

戸田市長 菅原 文仁

私はこれまで、「教育日本一」を掲げ、「戸田市の学校で学びたい」「戸田市の学校で学ばせたい」と感じていただけるよう、教育環境の充実に努めてまいりました。

本ガイドブックには、皆さまのお気持ちにお応えするため、小学校入学に際してのご不安やご不明点を解消する情報を数多く盛り込んでいます。

ぜひ、魅力あふれる戸田市の教育のもとで、お子さまの健やかな成長をお支えいただければと思います。



90点の凡庸な取り組みより、60点でも夢のある挑戦を

戸田市教育委員会教育長 戸ヶ崎 勤

将来が予測困難な時代にあって、「自らの人生を舵取りするための力」とは何なのかを考え、学校や教育活動をアップデートしてまいりました。市内すべての小・中学校において、とだっ子の挑戦を応援する豊かな教育活動に取り組んでいること、とだっ子や保護者の方の不安に寄り添う制度がそろっていることは、自信をもってお伝えしたいです。

とだっ子の皆さまの健やかな成長を願うとともに、小学校・中学校での「挑戦」を期待しています。



とだっ子の未来を拓く 教育の最前線に立つ

ココが違う！
戸田市の
教育スタイル

戸田시는30年連続で県内1位の平均年齢の若さ子育て世帯が多く、長年にわたってさまざまな現在も「誰一人取り残されない教育」「予測困難な社会を生きる力を育む教育」を目指し取り組んでいます。このガイドブックでは、そんな戸田の教育の特

さを誇る、東京都に隣接したボートのまちです。教育活動に取り組んできました。会を生きる力を育む教育」を目指し取り組んでいます。長や魅力を紹介します。

P4-5 環境・設備

最先端のツールを使った 自在に広がる学び

ICT(情報通信技術)を活用し、伝わりやすく効率的な教育を目指しています。1人1台の学習者用端末をいち早く導入。レーザー加工機や3Dプリンターなど、ものづくりを学べる機器の配備も進めています。

1人1台
パソコンを使った
学習



電子黒板機能付き
プロジェクタ

レーザー加工機
(中学校)



中学校
入学

P9 支援制度

戸田市ならではの 各種支援

入学準備金や奨学資金の貸付制度など、中学校卒業後も利用できる戸田市ならではの支援制度が多数あります。

中学校
卒業



P8 教育相談

誰一人 取り残されない教育

子どもたちの教育的ニーズを踏まえ、居場所となる多様な学びの場の選択肢の拡充を図っています。子どもの学習や生活、子育てについての悩みをスクールカウンセラー等、さまざまな専門家に相談することもできます。



ぱれっとルーム

P6-7 教育活動

幼保小架け橋 プログラム

全国に先駆けて、子どもに関わる大人が立場を越えて連携し、架け橋期(5歳児から小学校1年生の2年間)の発達に寄り添った教育の充実を図ります。

小学校
入学

P6-7 教育活動

1年生から英語教育

全国的には小学校3年生から始まる英語教育を、戸田市では1年生から実施。豊かな国際性を身に付け、気持ちや考えを英語で伝え合うことができる児童生徒の育成を目指しています。

中学校卒業までに、
3人に2人は
英検3級を取得！



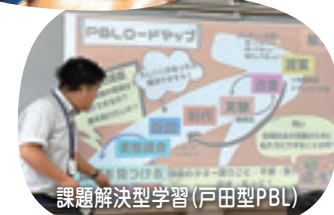
P6-7 教育活動

数字で表せない 生きる力の育成

テストの点数では評価できない、社会に出たときに必要とされる生きる力を育みます。課題を自ら発見して解決する課題解決型学習(戸田型PBL)にも力を入れています。変化する社会の動きを教育に取り入れるため、100を超える企業や大学、団体と連携した教育活動も行っています。



産官学連携



課題解決型学習(戸田型PBL)



安心感という土台の上に未来を創る力が育つ

暑い時期でも快適に
授業が受けられる

教室から体育館まで エアコンを設置

教室と体育館等にエアコンを設置しています。
夏場も冬場も快適な環境で授業を行えます。

涼しくて授業に
集中できるね!

衛生的で快適に
使えるトイレ

トイレを 100%洋式化

市内の小・中学校では、全国平均(68%)を大きく上回り、洋式トイレの設置率100%を達成しています。児童生徒が利用しやすい洋式トイレは衛生面でも優れていて、快適な学校生活をしっかりサポートしています。



誰もが
過ごしやすい施設へ

全校でバリアフリー化を推進

校舎や体育館にスロープや手すりを設け、段差をなくすバリアフリー化のリニューアル工事によって、子どもたちがより自由に校内を移動できるようになりました。また多目的トイレを設置することで、車いす使用者や一時的なケガで体が不自由な子どもたちも、快適に学校生活を送ることができます。

万が一に備えた
安心できる環境

警備員が駐在

すべての小・中学校に警備員を配置し、登下校の警備や学校の見回りをすることで、学校の安全を常に見守っています。

防犯グッズを配備

非常時にすぐに操作できるネットランチャー®を各教室に配備し、さすまたや防護盾も各校に配置することで、不審者侵入などの緊急時の安全確保に備えています。



ネットランチャー®

オートロックで安心

校舎の正面玄関にはオートロックを、校庭の周りには安全フェンスを設置して安心できる学校づくりを進めています。

戸田市の学校施設では、子どもたちが安心して学べるよう、安全性を第一に考えた設計の下、最新の ICT 機器の整備を進めています。この充実した環境が、これからの時代を生きるための探究心や創造性を育む土台となり、とだっ子の可能性を大きく広げます。



子どもたち一人ひとりの

学習者用端末で広がる学び

ICT (情報通信技術) のツールは、これからの時代の「文房具」。そんな思いから、1人1台の学習者用端末を活用しています。授業中はもちろん、家庭学習でも使用できます。



各教室に

電子黒板機能付きプロジェクタを設置

1人1台の学習者用端末を使った学びがより充実するよう、市内の小・中学校のすべての教室に電子黒板機能付きプロジェクタとホワイトボードを導入しています。

考えを瞬時に共有できる!

子どもたちが自分の端末で作った資料や撮影した写真を瞬時に投影でき、スムーズに考えを共有できます。

? 電子黒板とは

大きなホワイトボード上にデータを表示します。データ・画像の切り取りや保存、コピーなどが簡単にできます。端末との併用により、協働的で質の高い学びを実現します。

視覚的に理解しやすい!

映像や写真、図表などを投影できるので、視覚的な理解を深めやすくなります。効果的に学習できるよう、先生が手書きする部分と、写真などを投影する部分を、使い分けて授業づくりを工夫しています。



全中学校に導入

レーザー加工機など、「やってみたい」を形にできる環境で、子どもたちの挑戦を応援!

戸田市では小学校から、課題解決型学習(戸田型 PBL)の活動などにおいて、各教科等で学んだことを生かして、実際にモノやアプリを作り出す「ものづくり」の経験を大切にしています。中学校では、ハイスpek デジタル工作機械(レーザー加工機)を全校に導入。創造性を発揮し、「やってみたい」という気持ちを実際に形にできる環境を整えて、子どもたちの挑戦や創意工夫を応援しています。

自分の
作り出したもので
身近な社会の
課題を解決



創作活動の
幅が広がる



子どもたちが
やってみたい、
これに取り組みたいと
思えるように授業を
考えています。

市内小学校
福田先生

とだっ子の 好きを育み 得意を伸ばす

戸田市では、変化を続ける社会の動きを学校に取り込み、すべてのとだっ子が豊かな学びを得られるよう授業づくりをしています。これらの取り組みは全国から注目され、文部科学大臣や多くの自治体等からの視察を受け入れています。



戸田型 PBL による教科書を越えた実社会に関かした学び

実生活や実社会の課題を自分事として捉え、具体的に解決する課題解決型の学習(戸田型 PBL: Project-Based Learning)に取り組めます。子どもたちが主体となって課題を見つけ、その解決に向けた取り組みの中で探究的に学びを深めています。

自分たちで課題を解決

「大人の力」に頼ろうとするのではなく、試行錯誤しながら自分たちにできる解決策を考え、実行する。こうした取り組みを通じたさまざまな発見や学びを大切にしています。戸田型 PBL では、集大成としてプレゼンテーションを行います。文化会館で毎年行われるプレゼンテーション大会では、大人も驚くアイデアが発表されます。



取り組み例

学校の課題を解決

「職員室を明るくしよう」というプロジェクトを掲げ、職員室の後方の白い壁を塗り替えたことがあります。色の専門家を学校に招き、穏やかな気持ちになる色や集中力が上がる色などを教えてもらいました。

成果

子どもたちは後日、先生たちを相手に色見本を示しながら、それぞれの色の特徴をプレゼンテーション。意見を募った上で壁が塗り替えられました。

「数字で表せない能力」にも着目

子どもたちが将来、社会に出たら、さまざまな人と関わりプロジェクトを進めていくことになります。そのとき大切になるのが「非認知能力」と言われています。これは、テストの点数では測れない、生きる力のことで、協調性や忍耐力、やる気、自己肯定感、自制心など、さまざまな能力を含みます。

将来活躍できる力を育成

非認知能力は、特定の教科に限らず、教育活動の全体を通じて育んでいます。データも活用して、子どもたち一人ひとりの能力を把握し、効果的な教育ができているか確認しています。



学びをサポートするさまざまな先生

学習支援員や理科支援員など、とだっ子の学校生活を支えるたくさん先生がいます。

いろいろな先生と出会えて楽しいね



小中 9 年間の切れ目のない英語教育

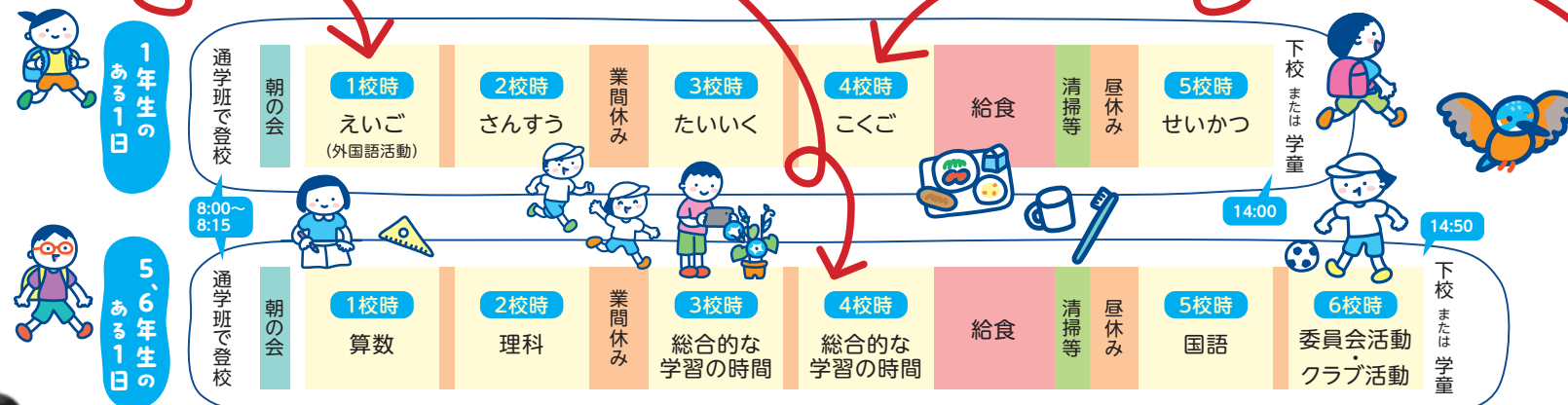
豊かな国際性を身に付け、誰とでも主体的に関わろうとし、気持ちや考えを英語で伝えあうことができる子どもを育成します。小学1年生から(全国的には3年生から)外国籍

特に1、2年生が苦手意識を持たないように、楽しみながら学べる工夫をしています。ALTは毎日学校にいますので、いつでも気軽に話しかけることができます。

のALT(外国語指導助手)も参加する授業で会話の体験を重ねます。



Wow! That's great! Tell everyone!



小学校の1年間

2学期制です



夢中になって 学び、楽しむ

週に1度は図書室で本を読む「図書の時間」を設けています。各学校に配置されている本好きサポーターが図書の整理や紹介、読み聞かせなどを行っています。

好きな本を夢中になって読むことは、学びとなることはもちろん、日々学校に通う楽しみにもなります。



100件以上! 産官学連携で、最先端の知見を教育現場に

産官学の組織や個人と連携し、専門的な知見や最先端の学習ツールを学校教育に取り入れることで、とだっ子の視野を広げ、変化が激しい時代を生きる力を育みます。

大学の研究者を招いて授業を見てもらい、ねらいとする授業ができているかアドバイスをもらうこともあります。



全国に先駆けた挑戦!

充実した学びの実現に向け、授業づくり(研究開発学校)や幼保小連携(架け橋プログラム)について、文部科学省の指定を受けた実証研究を進めています!



子育て中の「困った」をサポートする各種支援制度

誰一人取り残されない / 多様な教育的ニーズへの支援

戸田市では、多様な子どもがいることを前提とした「誰一人取り残されない教育」を目指しています。そのための施策として以下の取り組みを行っています。

連絡先 教育センター
Tel:048-434-5660



最近、学校を休みがちになってきた...

学校に通うことや教室に入ることがむずかしい児童生徒のために、以下のような学びの場を用意しています。

ぱれっとルーム(小学校) **きゃんぱすルーム(中学校)**

小・中学校の中にあるサポートルームです。

すてっぷ 市内2か所にある教育支援センターです。

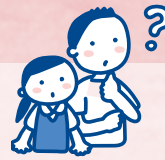
room-K ご自宅のパソコン等から支援を受けられるオンライン教育支援センターです。



子どもの悩み、どこに相談したら...

市内すべての小・中学校と教育センターにスクールカウンセラーがいます。子どもや保護者の抱える悩みを専門的な知識や経験を有する専門家に相談できます。

連絡先 教育センター(教育相談直通) Tel:048-434-5670



うちの子、読み書きがうまくできないみたい...

「特別でない特別支援教育」を合言葉に、障害のある児童生徒が在籍するすべての場での特別支援教育を進めています。また、以下の学びの場を整備し、児童生徒が必要な支援を受けられるようにしています。

特別支援学級 最大8人の児童生徒に1人の先生がつく学級です。戸田市には全小・中学校に知的特別支援学級、自閉症・情緒障害特別支援学級があります。

通級指導教室 通常学級に在籍しながら課題に応じた特別な指導を受けられる教室です。戸田市には発達・情緒通級指導教室と、難聴・言語通級指導教室があります。

※特別支援学校の小学部・中学部は市内にありませんが、特別支援学校に在籍していても地域の学校とともに学ぶ「交流および共同学習」を推進しています。



学童保育

各小学校の敷地内には公立の学童保育室を設けています(定員あり)。学童保育室(公立・民間)については、児童青少年課までお問い合わせください。



おうちの人がお仕事でも、学童で安心だね

放課後子ども教室

市内の小学1～6年生を対象に、小学校区ごとに「放課後子ども教室」を開催しています。放課後に、小学校の教室や校庭、体育館などを使って、地域のボランティアスタッフの協力により、小学生の自由遊びや学習活動(宿題など)、体験活動を行っています。

児童を1日単位で学童保育室でお預かりする一時保育もあるよ



連絡先 児童青少年課 放課後こども担当
Tel:048-441-1800 (内線455・689)

就学援助制度

経済的な理由により就学困難と認められるご家庭に対して、学用品費や給食費などの費用の一部を援助する就学援助制度があります。申請に基づき、経済的要件により市が認定した方に支給します。

連絡先 学務課 学務担当
Tel:048-441-1800 (内線303)

グローバルに活躍したい / TODACCO への支援



★ 英語検定受験費用の補助

市内在住の中学生について、英語検定3級(中学校卒業レベル)の取得を奨励しており、中学3年生が準2級もしくは3級を受験する場合に、受験費用を補助しています。

連絡先 教育政策室 教育政策担当
Tel:048-441-1800 (内線317)

★ 未来へはばたく人財育成資金給付制度 (海外体験給付金)

返済不要

進学の意欲や能力などを有しながら、経済的な理由で進学または修学が困難な生徒に、戸田市国際交流協会が実施する青少年海外派遣事業にかかる費用のうち、個人的な経費(旅券取得費用、雑費、小遣い等)を除いた自己負担分の全額を給付します。

★ 海外留学奨学制度

返済不要

海外の大学、短期大学、大学院への留学を予定されている方(最終学歴の学校を卒業後7年以内の者)へ、書類選考および面接選考の上、奨学資金を最大*150万円給与します。*2年以上留学する方への給与限度額が150万円



連絡先 教育総務課 総務担当
Tel:048-441-1800 (内線305)

教育相談・支援制度

★印のついている支援制度は戸田市独自の取り組みだよ!



学校給食費の支援



★ 第3子以降の児童は全額免除

多子世帯の経済的負担を軽減するため、市立小学校に在籍する第3子以降の児童の学校給食費の免除制度があります。

★ 中学校の給食費無償化

令和7年4月より、市立中学校に在籍する中学生の給食費を無償化しています。申請は不要です。

★ 中学校給食費相当額の助成

食物アレルギーや不登校などにより、給食の提供を受けていない市立中学校に在籍する生徒(市民)や、特別支援学校中学部に在籍する生徒(市民)に対し、学校給食費相当額(月額4,600円)を助成します。

連絡先 学校給食課 総務担当
Tel:048-442-5065

その他の支援制度

★ 未来へはばたく人財育成資金給付制度 (国公立高校奨学給付金)

返済不要

国公立高等学校への進学を希望し、意欲や能力などを有しながらも経済的な理由で進学が困難な生徒に、年18万円を給付します。

★ 入学準備金貸付制度

高等学校、専修学校および大学に入学を希望する生徒・学生の保護者のうち、入学準備金の調達が困難な方に、選考のうえ入学準備金30万～60万円を貸付する制度です。返済額に利子は付しません。

★ 奨学資金貸付制度

経済的な理由により修学困難な世帯の生徒および学生本人に、選考のうえ奨学資金(年12万～30万円)を貸付する制度です。返済額に利子は付しません。

連絡先 教育総務課 総務担当
Tel:048-441-1800 (内線305)



あ か い の どちらか
ただしい ほうを えらんで すすんでね。



す た あ と
スタート



? ① とだしの かたちは
どっち?

あ

い



? ② とだしの なつの
イベント と いえは?

あ

い

すいかわり はなび



? ③ とだといえは
なんの まち?

あ

い

ぼ う と うみ
ボート うみ



? ④ とだしに ある
でんしゃの
えきは いくつ?

あ

い

3つ 1つ

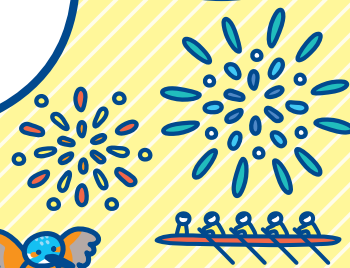


? ⑤ とだしに
ながれる かわは?

あ

い

とねがわ あらかわ



ご う る
ゴール



(ちずで みてみてね (P.10)。 は さいたまけんの かたち だね)
① はなび (あらかわの おそろを いるとる そうだいな はなびは、 は<り>よ>まんてん!)
② ボート (とだといえは ボートのまち! ボートコースへは いったことが あるかな?)
③ 3つ (せんぶの えきの なまを いえるかな? → とだこうえん、とだ、きたとだ だね!)
④ あらかわ (あらかわは とだしを つつむように ながれていよ)

え
こ
た
え